

## ○ 平成 27 年度第 3 回恵庭市社会福祉審議会会議録

平成 28 年 3 月 15 日（火）10:00～  
市民会館 第 1 会議室

### 【出席者】

＜出席委員＞鏡委員（会長）、杉岡委員（副会長）、中村委員、西根委員、泉委員、野原委員、佐藤委員、熊谷委員 \*欠席委員～小田委員、島田委員、山田委員

＜事務局＞保健福祉部長、保健福祉部次長、子ども未来室長、子ども未来室次長、子ども発達支援センター長、福祉課長、国保医療課長、障がい福祉課長、介護福祉課長、子育て支援課長、子ども家庭課長、子ども家庭課主幹、保健課長、保健課主幹、福祉課庶務担当主査（記録者）

【傍聴】 なし

（司会進行；保健福祉部次長）

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

今年は雪解けが早く、時期的に人事異動等何かと忙しいとは思いますが、審議会ということで真剣にご議論いただきますようよろしくお願いします。

#### 保健福祉部長あいさつ

社会福祉審議会は本来であれば年 2 回程度の開催ですが、本年度は地域福祉計画の策定もあり 3 回の開催となりました。また、各専門部会におかれましてもそれぞれ活発なご議論をいただき心からお礼申し上げます。国においてはアベノミクスの第 2 ステージということで 1 億総活躍社会をテーマに掲げました。具体的には「安心した子育て環境の充実」ということで第 1 ステージと大きく方針が変わっています。恵庭市においては現在、人口は増加していますが今後は減少が見込まれます。そのような中、今回地域福祉計画を作成した訳ではありますが、この計画は個別の計画を理念で繋いだものであり、実際には各個別計画や社協の地域福祉実践計画において今後の恵庭市の福祉について取り組んでいく形になります。今後とも社会福祉において何かと厳しい時代が予想されますが、どうかご協力をお願いします。

### 3 議題

#### (1) 第3期恵庭市地域福祉計画（案）について

＜福祉課長から概要説明＞

【質疑なし】

※本計画について承認いただいた。

### 4 報告事項

各専門部会からの報告

#### (1) 高齢者福祉・介護保険専門部会

＜中村委員および介護福祉課長から別紙資料に基づき報告＞

#### (2) 障害者福祉専門部会

＜鏡委員および障がい福祉課長から別紙資料に基づき報告＞

#### (3) 児童福祉専門部会

＜熊谷委員および子ども家庭課長から別紙資料に基づき報告＞

【質問】

#### Q. 高齢者福祉・介護保険専門部会関連

日常生活圏域の見直しについて、新圏域 A が新圏域 B を大きく囲うような地区割りになっていますが、囲わないような地区割りは出来なかったのか？

A. 新圏域 B と新圏域 D の間の町内会については、南島松という町内会で新圏域 A の町内会と一緒にしている関係から、今回新圏域 A に含めることとしました。

Q. このような地区割りだとデイサービスを利用するときに距離が遠くなると思うが如何か？

A. 町内会単位で分けないと地域の方が混乱してしまうことが想定され、デイサービスにおいては送迎もやっており、車での移動となるので利用者にとって問題ないのではないかと考えます。

**Q. 児童専門部会関連**

ペアレントメンター養成が未実施となっているが何故か？ペアレントメンター事業は児童虐待防止に向けて重要な位置づけになると思う。

A. この事業は北海道が北海道発達障がい者協会に委託して行っている事業で、このペアレントメンター事業は、その事業に参加している団体のある市区町村で実施をすることとなっており、恵庭市においては現在、参加している団体が無いことから未実施となっています。現在北海道においてこの事業について検証していると伺っていますので、それらの情報をいただきながら今後どのように事業が実施できるか検討してまいります。

**5 その他**

特に無し

**6 閉会**

10時45分 閉会